

[03_02]情報処理教育広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/6767914>

出版情報：情報処理教育広報. 3 (2), 1980-11. Educational Center For Information Processing,
Kyushu University

バージョン：

権利関係：

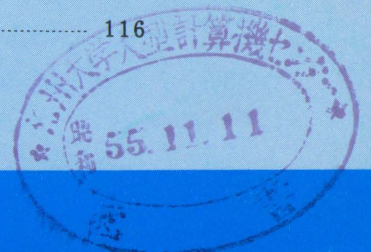


心 報

Vol.3 No.2
1980

目 次

随 想	北村 泰一	1
開 発 研 究		
PASCAL プログラム実行演示システム	樽美和幸, 宇津宮孝一, 荒牧重登	2
解 説		
TSS GPSS 利用法	荒 牧 重 登	17
資 料		
教材システムBOOKの使用法	古川由美子	61
ACOS-6 アプリケーション・プログラム概説	赤 司 房 子	76
TSS コマンドの追加 (SUMMARY)		99
教育の広場		
学生レポートから — ある学生のレポート作成苦心談 —		101
報 告		
アンケートの調査結果について	宇津宮孝一	104
センターより		
ACOS-6 システムのバージョンアップについて		114
昭和55年度後期授業一覧		115
編 集 後 記		116



センター電話番号

代表 (092) - 641 - 1101
夜間 (092) - 641 - 4047

○ 通 話 用

階	室 名	電話番号 (内線)
5	センター長室	2 6 5 0
5	次 長 室	2 6 5 1
5	助 手 室	2 6 5 2
3	講師控室兼相談室	2 6 5 3
5	プ ロ グ ラ マ 室	2 6 5 4
6	計 算 機 管 理 室	2 6 5 5
5	事 務 室	2 6 5 6
6	受 付	2 6 5 7
4	オープン端末室	2 6 5 8

○ 計算機接続用

種 別	電 話 番 号
構内電話回線	18
公衆電話回線	641-4538

表 記 法

○ 参考箇所の表記法

本号記事の中で、他の部分を参照して欲しい場合には、“(→ x m, …)”のように表す。
xは記号の標題（省略時は同一標題の他の箇所を表す）などの略字、mは節や項目番号、…は複数箇所を意味する。

x : 例えば、マニ（マニュアル）を表す。

m : 節などは1.4, 項目番号などは10, (5), ③, 一連の節や項目番号は1.4 ~ 1.7, 10 ~ 15の
ように表す。 mを省略するとx全体の参照を意味する。

○ 項目指定の表記法

本号記事の中で、コマンドなどの項目を指定する場合には、特に断らない限り次の表記法を用いる。
・大カッコ({ })は選択項目で、その中の一つを必ず指定する。

$\left\{ \begin{array}{c} a \\ b \\ \vdots \\ z \end{array} \right\}$ の z のように下線が引かれた項目は、省略時にこの値がとられることを意味する。

- ・角カッコ ([]) は、指定してもしなくてもよい項目を表す。
- ・日本語または英小文字は、必要なもので置き換える。
- ・英大文字や特殊文字はそのとおりに書く。
- ・反復記号 (…) は繰返しを意味する。
- ・a b | x x x または、a x x b | x は、a b x x x または a x x b x を a b と省略して書けることを意味する。